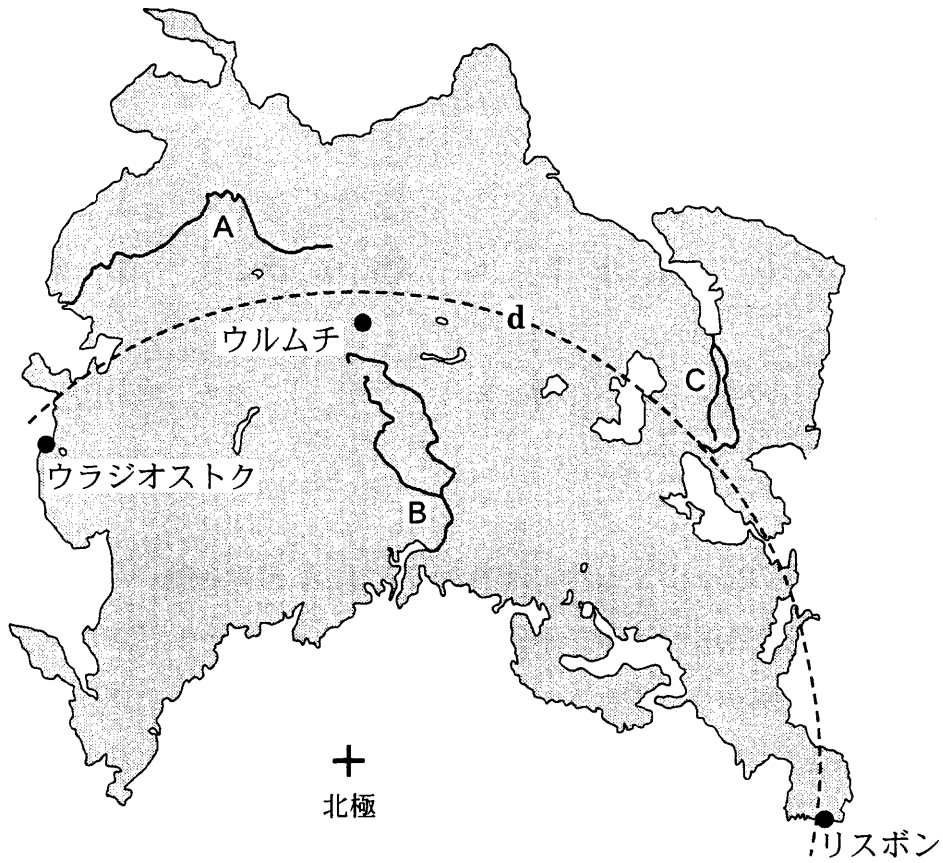


地 理 A

(解答番号 ~)

第1問 次の図1を見て、ユーラシア大陸の自然環境と人々の生活・文化などに関する下の問い(問1～7)に答えよ。(配点 20)



北極を中心とするランベルト正積方位図法。

図 1

問 1 図 1 中の緯線 d で示される緯度に該当するものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 1

- ① 北緯 20 度 ② 北緯 30 度 ③ 北緯 40 度 ④ 北緯 50 度

問 2 次のア～ウの文章は、図 1 中の A～C のいずれかの河川とその流域について説明したものである。ア～ウと A～C との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 2

ア 源流域と河口の標高差は 6,000 m を超え、流域には多くの水力発電所が建設されている。下流域は長距離にわたり水深が深く、運河によって他の大河川流域とも結ばれており、水運に利用されている。

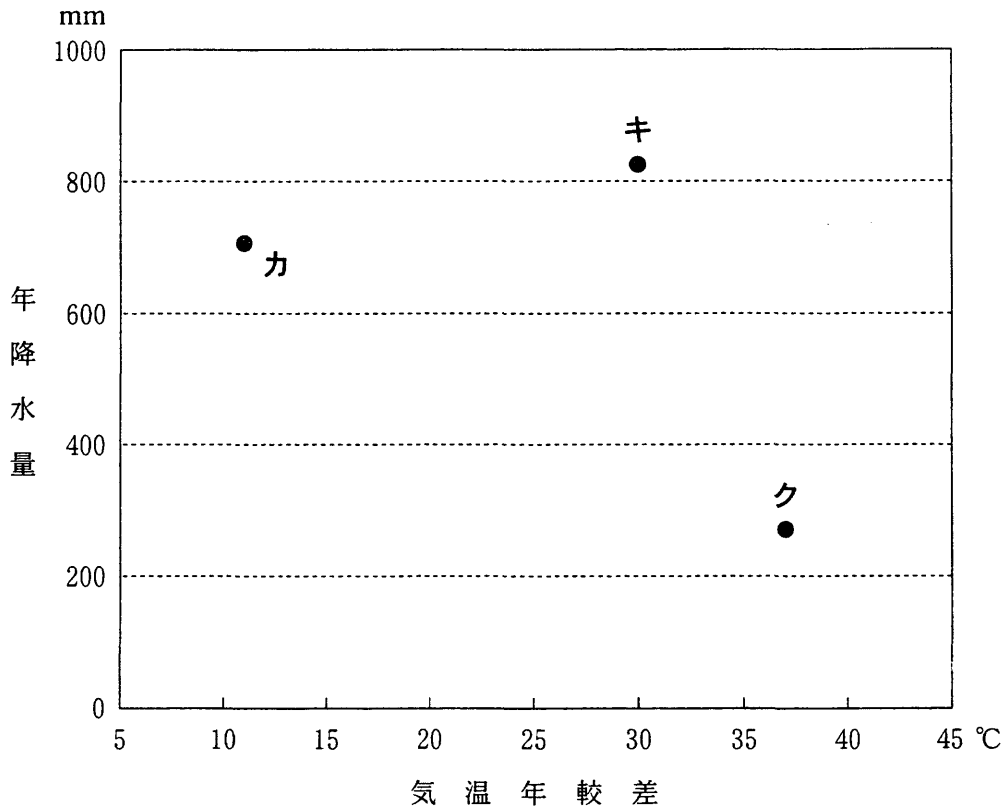
イ この河川は、主に標高 200 m 未満の平原を流れるが、最上流部には 4,000 m を超える山もみられる。春には上流部から氷雪の融解が始まるので、下流域に洪水が広がる。

ウ 流域の多くは乾燥地域になっているが、源流域は標高 2,000 m 以上の高原で、年降水量が 500 mm を超える。中・下流域の氾濫原はんらんげんには肥沃な土地ひよくが広がっている。

	①	②	③	④	⑤	⑥
ア	A	A	B	B	C	C
イ	B	C	A	C	A	B
ウ	C	B	C	A	B	A

地理 A

問 3 次の図 2 中のカ～クは、図 1 中のウラジオストク、ウルムチ、リスボンのいずれかの都市における気温年較差と年降水量を示したものである。カ～クと都市名との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 3



『理科年表』により作成。

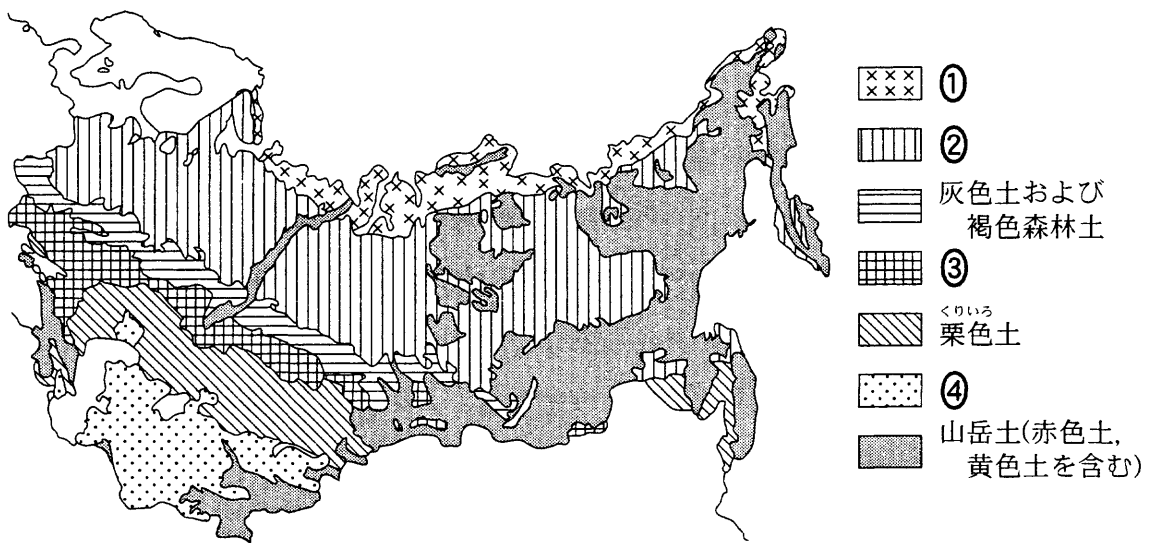
図 2

	カ	キ	ク
①	ウラジオストク	ウルムチ	リスボン
②	ウラジオストク	リスボン	ウルムチ
③	ウルムチ	ウラジオストク	リスボン
④	ウルムチ	リスボン	ウラジオストク
⑤	リスボン	ウラジオストク	ウルムチ
⑥	リスボン	ウルムチ	ウラジオストク

問 4 ユーラシア大陸北部に広がる永久凍土地帯の自然環境と人間生活について述べた文として適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 4

- ① 永久凍土が融けて家屋が傾くのを防ぐため、建物を高床式の構造にし、家屋の熱が地面に伝わらないよう工夫している。
- ② 地表付近の凍土は、夏季には融解するが、融け出た水は地下の永久凍土層のために浸透せず、多くの沼や湿地が出現する。
- ③ 常に温度が氷点下に保たれているという永久凍土の性質をいかし、凍土中に掘った穴を食物の貯蔵庫として利用している。
- ④ 短い夏に、融解した地表付近の土壌を利用して、トウモロコシが集約的に栽培されている。

問 5 次の図 3 は、ユーラシア大陸北部とその周辺地域における土壌について示したものであり、凡例中の①～④は砂漠土、チェルノーゼム(黒色土)、ツンドラ土、ポドゾルのいずれかである。チェルノーゼムに該当するものを、図 3 中の①～④のうちから一つ選べ。 5



Oxford Economic Atlas により作成。

図 3

地理 A

問 6 ユーラシア大陸では、様々な環境問題が発生している。ユーラシア大陸における環境問題について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① バルト海沿岸部では、市場経済化の進行する旧社会主義国からの工場廃水が水質悪化をもたらし、マングローブ林が壊滅的な打撃を受けている。
- ② 中国西部の標高 3,000 m を超える高原地域では、人口増加にともない、工場や自動車から排出される窒素^{ちつそ}酸化物の量が急増している。
- ③ スウェーデンでは、温暖化にともない、土壌の塩類集積が問題となる地域が増えている。
- ④ ウクライナでは、北部に立地するチェルノブイリ原子力発電所で発生した事故により、放射性物質による環境汚染がみられる。

問 7 次の①～④の文章は、イタリア、中国、ネパール、ノルウェーのいずれかの国における自然環境と観光資源とのかかわりについて述べたものである。イタリアに該当するものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① オーロラ、白夜、フィヨルドなどの観光資源に恵まれている。スキーが冬季観光の中心であり、過去に冬季オリンピックも開催された。
- ② 施設の整備された北部山岳地帯では、スキーなどが楽しめる。南部では、火山や、火山噴出物により埋没した都市遺跡などが観光資源となっている。
- ③ 南部のカルスト地形、内陸の峽^{きょうこく}谷や自然保護区、西部のオアシスなど、観光資源が豊富である。文化遺産との融合も大きな魅力である。
- ④ 世界最高峰^{よう}を擁する北部山岳地帯では、トレッキング(山歩き)が盛んである。南部低地の国立公園では、野生動物の見学ツアーも行われている。

地理 A

第 2 問 世界の生活と文化に関する次の問い(問 1～7)に答えよ。(配点 20)

問 1 次の写真 1 中の①～④は、ガーナ、ドイツ、日本、メキシコのいずれかの国で行われている祭礼の様子を撮影したものである。メキシコに該当するものを、写真 1 中の①～④のうちから一つ選べ。



①



②



③



④

写真 1

問 2 世界各地域に居住する人々やその文化について述べた文として**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。 9

- ① 北海道などに居住するアイヌ民族には、漁労や採集にかかわる伝統的な文化がみられる。
- ② アメリカ合衆国では、メキシコなどから移住したヒスパニックの割合が近年大きくなっている。
- ③ 南アフリカ共和国では、黒人が国民の過半数を占めているが、かつては白人による人種隔離政策が行われていた。
- ④ インドでは、ヒンディー語を話す人々が最も多く、そのほとんどは、仏教を信仰している。

問 3 自然環境と人々の暮らしには密接な関係があり、世界各地に気候・植生・土壌に関する固有の名称が存在している。それらの名称について説明した文として最も**適当なもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。 10

- ① パンパは、中央アジアの半乾燥地域に広がる草原であり、小麦栽培や牛などの飼育が行われている。
- ② レグール土は、インドのデカン高原に分布する黒色の土壌であり、オリーブ栽培が盛んに行われている。
- ③ やませは、日本の東北地方の太平洋側で夏季に吹く冷涼湿潤な風であり、稲の生育に悪影響をもたらす。
- ④ ハリケーンは、アラビア海で発生する熱帯低気圧であり、通過の際には甚大な被害をもたらす。

地理A

問 4 次の写真2は、ある地域にみられる伝統的な住居の外観を撮影したものであり、写真の下の文章は、この住居の特徴と利用に関する説明である。このような住居がみられる地域として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

11



写真

柱や梁は木でつくられているが、床や壁には竹が用いられており通風がよい。屋根裏には米などの穀物を貯蔵する部屋があり、床下や住居の周囲では豚や鶏などの家畜が飼育されている。

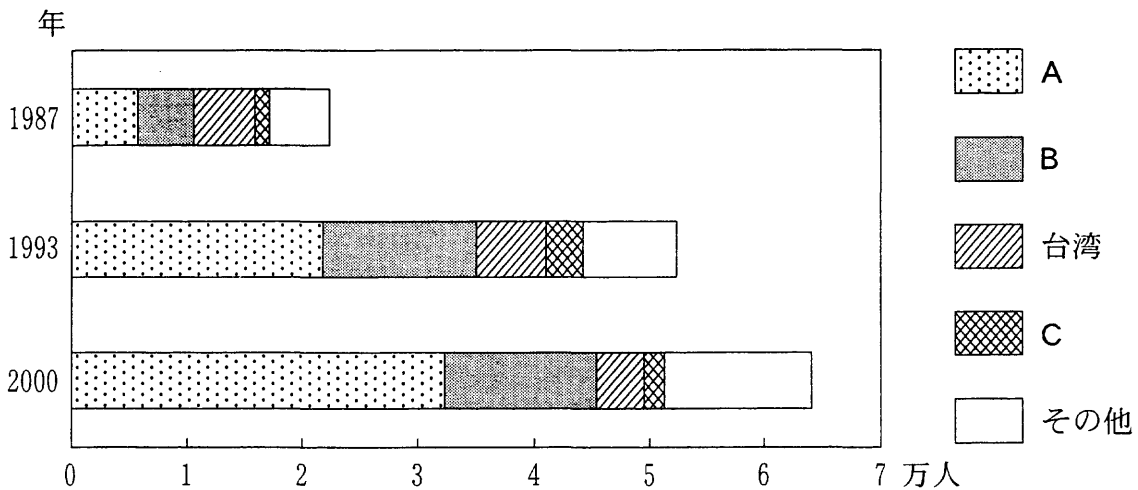
写真 2

- | | |
|-------------|-----------|
| ① アラビア半島 | ② インドシナ半島 |
| ③ カリフォルニア半島 | ④ フロリダ半島 |

問 5 日本では、1980年代後半以降、アジアからの留学生が増加している。次の図1は、日本の高等教育機関*で学ぶ留学生の推移を出身国・地域別に示したものであり、A～Cは、韓国、中国**、マレーシアのいずれかである。A～Cと国名との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 12

*大学、短期大学、高等専門学校、その他の専門学校を指す。

**1987年、1993年は台湾、ホンコン、マカオを含まない。2000年は台湾を含まない。



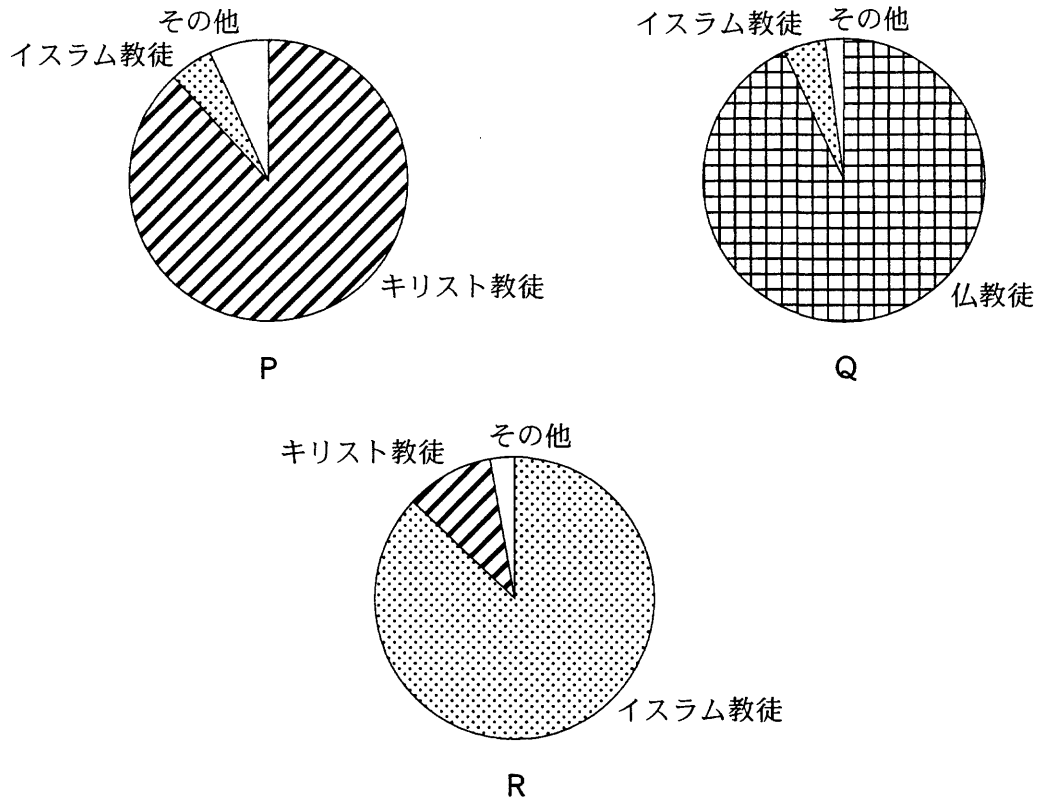
文部科学省の資料などにより作成。

図 1

	A	B	C
①	韓国	中国	マレーシア
②	韓国	マレーシア	中国
③	中国	韓国	マレーシア
④	中国	マレーシア	韓国
⑤	マレーシア	韓国	中国
⑥	マレーシア	中国	韓国

地理 A

問 6 次の図 2 中の P～R は、インドネシア、タイ、フィリピンのいずれかの国について、主要な宗教の信者の割合を示したものである。P～R と国名との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 13



『世界地理大百科事典』により作成。

図 2

	①	②	③	④	⑤	⑥
インドネシア	P	P	Q	Q	R	R
タイ	Q	R	P	R	P	Q
フィリピン	R	Q	R	P	Q	P

問 7 国境を越えた人口移動は、移動先の地域に様々な影響を与えることが多い。
 国際的な人口移動について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 14

- ① フランスでは1960年代に、旧植民地であるインドやバングラデシュなどの南アジア諸国から移民や出稼ぎ労働者を受け入れた。
- ② ペルシア湾岸の産油国には、石油開発事業や都市建設のためにエジプトやパキスタンからの労働者が流入している。
- ③ 第二次世界大戦前から終戦直後にかけて、日本からハワイやヨーロッパに移民がみられたが、その子孫の中には現在日本で働く人も多い。
- ④ 第二次世界大戦後、アメリカ合衆国では韓国からの移民が増え、現在では韓国系の人々が中国系の人々の人口を上回っている。

地理A

第3問 次の文章を読み、人や物の移動・交流に関する下の問い(問1～7)に答えよ。(配点 20)

近年、わたしたちの身の回りでは①貿易による物の移動ばかりでなく、②人の移動・交流の面においても、様々なかたちで国際化が進展している。例えばスポーツを通じた交流をみると、③海外から日本にやってきてプレーする外国人だけでなく、海外で活躍する日本人も増えている。また、④地方自治体が地域の活性化や文化交流などを目的に締結する姉妹都市も、国際関係の緊密化にともなって大幅に増加している。さらには、身近な地域に生息する動植物や家庭で飼われるペットの中にも、⑤海外からもち込まれた外来種が増えている。こうした人や物の移動・交流は世界的にも様々なかたちで拡大しており、⑥国家間協力を目的とした組織が新たに設置されたり、既存組織が加盟国を増やしたりする事例もみられる。

問1 下線部①に関して、下の①～④の文は、次のA～Dのいずれかの貿易港(空港を含む)における主な貿易品目の傾向(2001年)について述べたものである。Cの港について述べた文として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

15

- A 東京港・大阪港
- B 名古屋港・横浜港
- C 成田空港・関西国際空港
- D 水島港・鹿島港

- ① 輸入額、輸出額ともに集積回路、精密機械などの割合が高い。
- ② 輸入額では衣類、石油などの割合が高く、輸出額では自動車の割合が高い。
- ③ 輸入額では食料品、衣類などの割合が高く、輸出額では精密機械の割合が高い。
- ④ 輸入額では鉄鉱石、石油などの割合が高く、輸出額では鉄鋼、化学薬品などの割合が高い。

問 2 下線部㉔に関して、次の表 1 は、日本の輸入総額に占める上位 4 か国について輸入額上位 5 品目を示したものであり、①～④はアメリカ合衆国、インドネシア、韓国、中国*のいずれかである。インドネシアに該当するものを、表 1 中の①～④のうちから一つ選べ。 16

*台湾、ホンコンを含まない。

表 1

順位	①	②	③	④
1 位	液化天然ガス	機 械 類	機 械 類	機 械 類
2 位	機 械 類	石油製品	航 空 機	衣 類
3 位	原 油	魚 介 類	精密機械	魚 介 類
4 位	合 板	鉄 鋼	肉 類	はきもの
5 位	魚 介 類	金属製品	た ば こ	精密機械

統計年次は 2002 年。

『日本国勢図会』により作成。

問 3 下線部㉕に関して、日本と諸外国との間にみられる人の移動・交流の特徴について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

17

- ① 旅行などで海外に出国する日本人と、海外から日本に入国する外国人とでは、外国人の入国者のほうが多い。
- ② 日本人の海外旅行先は、長くフランスが第 1 位であったが、近年では韓国がフランスを抜いて第 1 位となっている。
- ③ 日本で暮らす外国人の国籍は、アメリカ合衆国が最も多く、フィリピンがこれに次いでいる。
- ④ 就労目的でブラジルやペルーから来日する人々は、自動車などの機械工業が発達した都市やその周辺に居住することが多い。

地理 A

問 4 下線部㉔に関して、次の表 2 は、国際的に盛んな三つのスポーツについて、日本のチーム*に所属する外国出身選手の主な出身国・地域と、それぞれのスポーツが近代競技として成立した国を示したものである。また、表 2 中のア～ウは、サッカー、野球、ラグビーのいずれかである。ア～ウとスポーツ名との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 18

*サッカーはJリーグ、野球はプロ野球、ラグビーはトップリーグに所属するチーム。

表 2

	ア	イ	ウ
出身国・地域	アメリカ合衆国 台湾 ドミニカ共和国 ブラジル ベネズエラ	オーストラリア サモア トンガ ニュージーランド フィジー諸島	オランダ 韓国 クロアチア コロンビア ブラジル
成立国	アメリカ合衆国	イギリス	イギリス

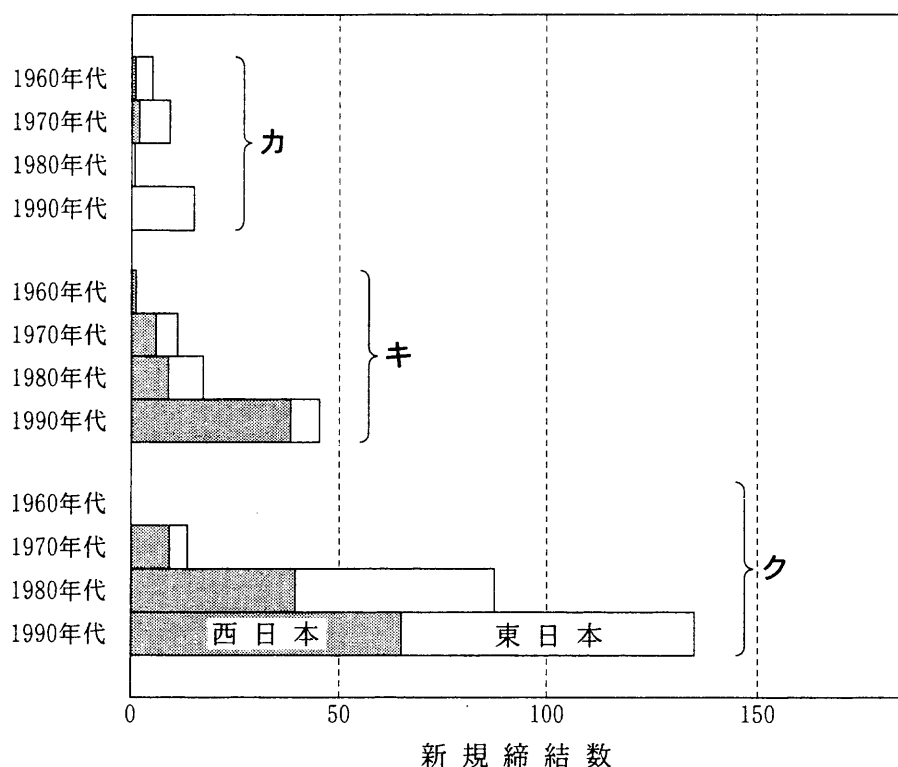
選手の出身国・地域は、人数上位 5 か国を五十音順に並べたものである。
『プロ野球選手名鑑 2003』などにより作成。

	①	②	③	④	⑤	⑥
ア	サッカー	サッカー	野 球	野 球	ラグビー	ラグビー
イ	野 球	ラグビー	サッカー	ラグビー	サッカー	野 球
ウ	ラグビー	野 球	ラグビー	サッカー	野 球	サッカー

問 5 下線部①に関して、次の図 1 は、日本の市区町村と、日本海をはさんだ近隣諸国の都市などとの間で、新規に交された姉妹都市締結数を西日本と東日本に分けて年代別に示したものである。また、図 1 中のカ～クは、韓国、中国*、ロシア**のいずれかである。カ～クと国名との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 19

*台湾を含まない。

**旧ソ連時代については、現ロシア領域内の都市などに限る。



西日本とは三重県・滋賀県・京都府以西の、東日本とは愛知県・岐阜県・福井県以東の地域を指す。

『日本の姉妹自治体一覧』により作成。

図 1

	①	②	③	④	⑤	⑥
カ	韓国	韓国	中国	中国	ロシア	ロシア
キ	中国	ロシア	韓国	ロシア	韓国	中国
ク	ロシア	中国	ロシア	韓国	中国	韓国

地理 A

問 6 下線部㉔に関して、動植物の中には、絶滅のおそれから輸出入が禁止されているものや、移入先の生態系に悪影響を及ぼすことが心配されているものがある。希少な野生動植物の国際取引制限に最も関係が深いものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 20

- ① 国連環境計画
- ② 地球サミット
- ③ ナショナルトラスト運動
- ④ ワシントン条約

問 7 下線部㉕に関して、次の図 2 中の E～H および日本の 5 か国すべてが加盟している国際的な組織の名称と、それを説明した文との正しい組合せを、次ページの①～④のうちから一つ選べ。 21

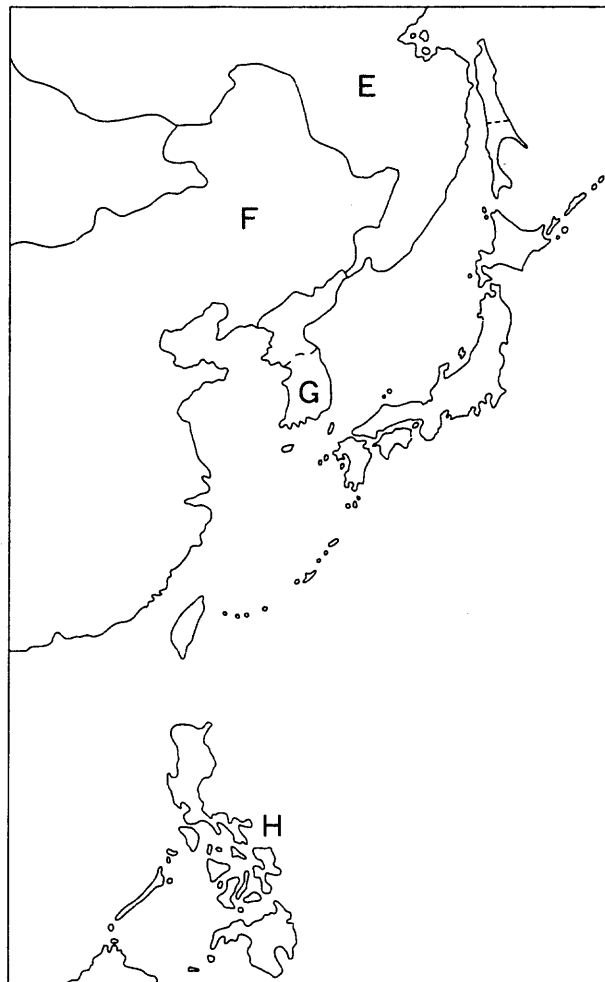


図 2

名称 APEC(アジア太平洋経済協力会議)

OECD(経済協力開発機構)

説明 サ 自由貿易の拡大と発展途上国への経済援助を主な目的として1961年に設立されたもので、本部をパリにおく。

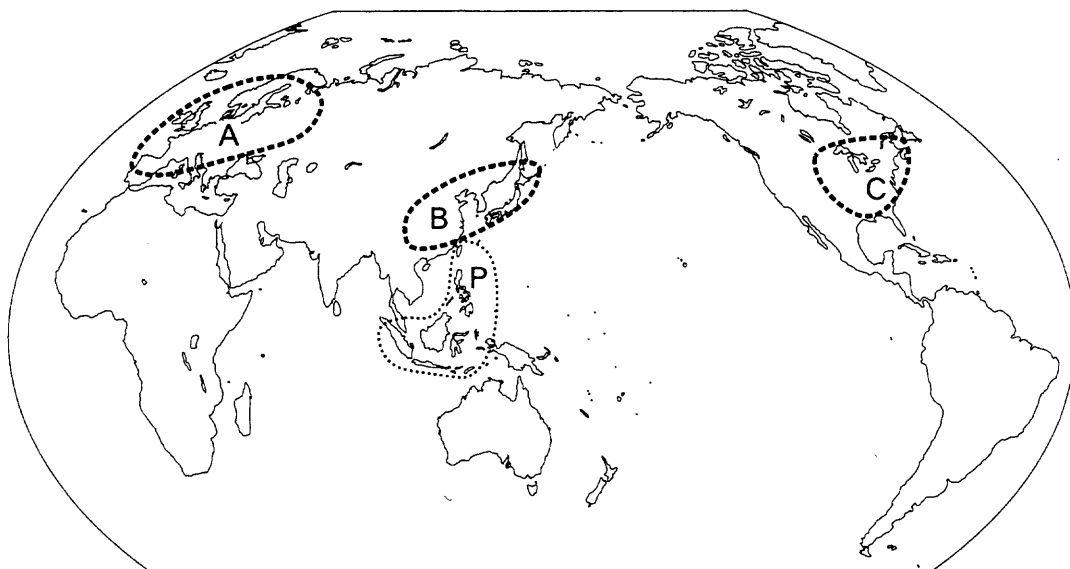
シ 加盟国間の経済および貿易関係の強化を主な目的として1989年に結成されたもので、事務局をシンガポールにおく。

	名 称	説 明
①	APEC	サ
②	APEC	シ
③	OECD	サ
④	OECD	シ

第 4 問 現代世界の特徴と課題に関する次の問い(問 1～7)に答えよ。(配点 20)

問 1 下のア～ウの文章は、次の図 1 中の A～C のいずれかの地域における大気汚染や酸性雨問題について述べたものである。ア～ウと A～C との組合せとして最も適当なものを、次ページの①～⑥のうちから一つ選べ。

22



The State of the Environment Atlas により作成。

図 1

- ア 大陸部の、石炭に大きく依存する産業地域の急速な発展にともない、大気汚染物質による住民の健康被害が一部に生じている。大気汚染物質は近隣諸国にも降下しており、生態系への影響が懸念されている。
- イ 国境をはさんだ湖水域周辺の重化学工業地帯から、大量の大気汚染物質が排出された。酸性雨による生態系への影響がみられたが、現在では関係国家間の協力により環境改善が進んでいる。
- ウ 19 世紀後半に酸性雨が報告されて以来、大気汚染物質の長距離移動によって、森林の枯死や歴史的な建造物の腐食などの被害が広範囲に生じた。1970 年代に国際条約が締結され、環境に関する多国間協力が図られている。

	ア	イ	ウ
①	A	B	C
②	A	C	B
③	B	A	C
④	B	C	A
⑤	C	A	B
⑥	C	B	A

問 2 図 1 中の P 地域において、近年発生した大規模な災害として**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。 23

- ① 冷 害 ② 火山災害 ③ 森林火災 ④ 地震災害

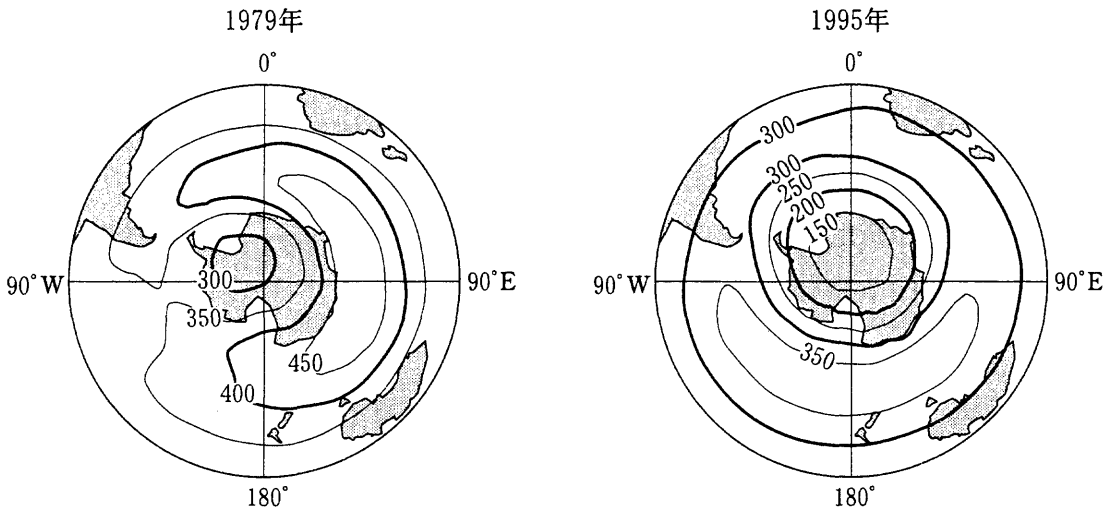
問 3 世界の農業と食生活について述べた文として最も**適当なもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。 24

- ① アメリカ合衆国は、世界最大の穀物輸出国であることから、世界の穀物価格に大きな影響を及ぼしている。
- ② エチオピアは、気象災害などによって食料不足や飢餓^{きが}に直面したが、緑の革命によって食料輸出国に変わった。
- ③ サウジアラビアでは、石油資源の枯渇を見越して伝統的農業が復活し、羊などの肉食からトウモロコシや野菜中心の食生活に変わった。
- ④ 中国では、市場経済の行き詰まりによる穀物生産の不足から、小麦中心の集団農場が復活した。

地理 A

問 4 次の図 2 は、南半球における 1979 年 10 月と 1995 年 10 月の月平均オゾン全量を示したものである。近年のオゾン層破壊の程度や影響、および対策について述べた文として**適当でないもの**を、下の①～④のうちから一つ選べ。

25



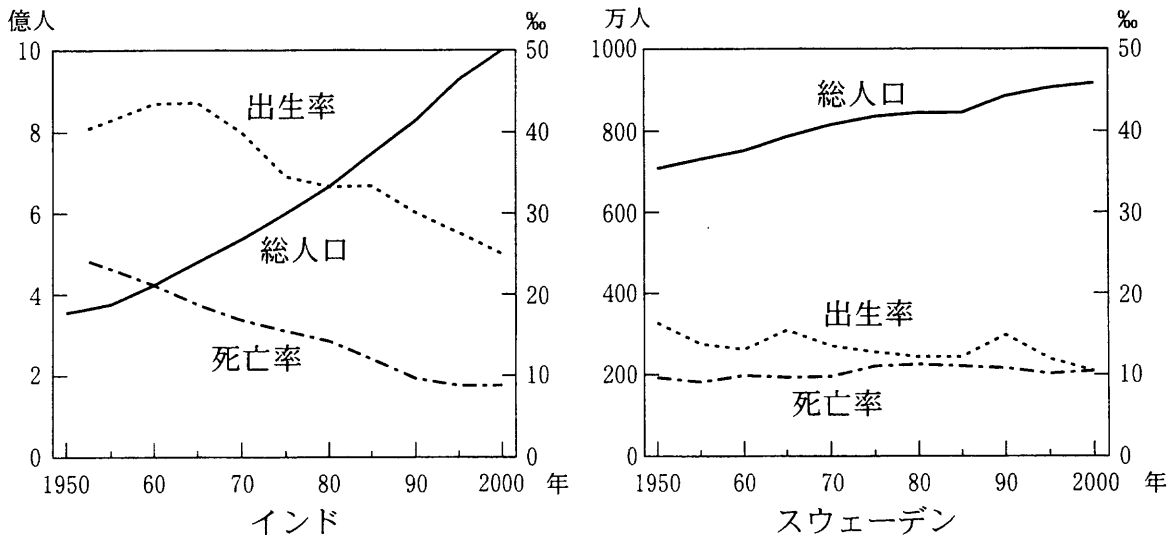
単位は m atm-cm(ミリアトムセンチメートル)。
『今日の気象業務』により作成。

図 2

- ① オゾン全量が 150 m atm-cm(ミリアトムセンチメートル)以下のところは、1979 年にはみられないが、1995 年には南極大陸の上空に出現している。
- ② 1979 年と 1995 年を比較すると、オゾン全量の減少は、南極大陸だけでなく、南アメリカ南部、オーストラリアなどにまで及んでいる。
- ③ 有害紫外線の増加によって、皮膚癌や白内障などの健康被害が懸念され、オーストラリアではサングラスの着用を勧める学校もある。
- ④ オゾン層破壊の要因となるフロンガスの排出量規制のため、南半球の多くの国々では、国際条約に基づいてフロンガスの使用が全面的に禁じられている。

問 5 人口問題は、世界の各国にとって重要な課題である。次の図3は、インドとスウェーデンの総人口、出生率、死亡率の変化を示したものである。図3の内容に関する文章として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

26



『世界人口年鑑』により作成。

図 3

- ① インドでは、1950年代以降、死亡率の低下が継続してみられた。この間、医療サービスの普及と並行して、日本を上回る高齢化が全国的に進行した。
- ② インドでは、1970年代以降、出生率が継続して低下しているにもかかわらず、総人口が増加を続けた。この間、外国からの大規模な人口流入があった。
- ③ スウェーデンでは、1950年代以降、死亡率が低い水準で推移した。この間、医療制度や高齢者福祉制度が充実した。
- ④ スウェーデンでは、1960年代と1980年代に出生率が上昇に転じた。これらの時期には、女性の社会進出を抑制し、出産を奨励する政策が進められた。

地理 A

問 6 次のQ～Sの文章は、世界的な大都市である東京、ニューヨーク、フランクフルトのいずれかについて説明したものである。Q～Sと都市名との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 27

Q 湾の奥に位置し、低地から台地にかけて市街地が広がっている。歴史的な都市を起源とする首都であり、政治・経済・文化の中心である。現在、都心部の再開発が活発に行われている。

R 二つの川にはさまれた地域に中心業務地区がある。この都市にある証券取引所の動向は、世界の株式市場に影響を与える。2001年の同時多発テロにより大きな被害を受けたが、依然として世界経済の中心である。

S 大河川の支流に面し、水陸・航空交通の結節点となっている。多様な工業が発達するとともに、世界的な金融・株式市場の中心として成長したこともあり、国家群組織の中央銀行が設置されるに至った。

	Q	R	S
①	東京	ニューヨーク	フランクフルト
②	東京	フランクフルト	ニューヨーク
③	ニューヨーク	東京	フランクフルト
④	ニューヨーク	フランクフルト	東京
⑤	フランクフルト	東京	ニューヨーク
⑥	フランクフルト	ニューヨーク	東京

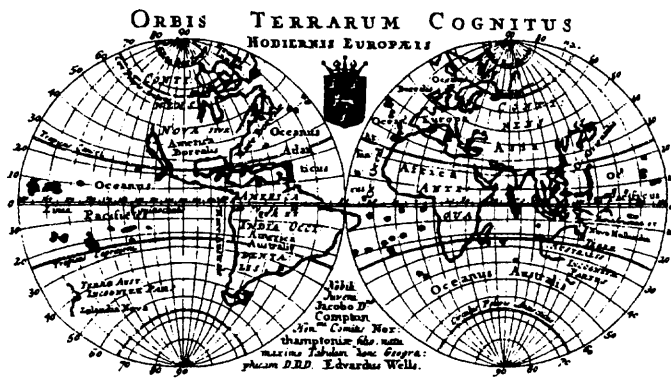
問 7 ユーラシアのいくつかの国がかかえる社会・経済的な問題について述べた文として適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 28

- ① 中国では、一人っ子政策により少子化が進み、外国人労働力に大きく依存するようになっている。
- ② ドイツでは、統合後、旧東ドイツ地域を対象に政府による大規模な投資が行われたが、旧西ドイツ地域との経済格差は依然として解消されていない。
- ③ マレーシアでは、経済格差是正のため、多数派であるマレー系住民への優遇策がとられたので、少数派の中国系住民からの反発もみられる。
- ④ ロシアでは、社会主義政権崩壊後の経済体制の急激な変化によって、貧富の差が大きくなり、その是正が重要な課題となっている。

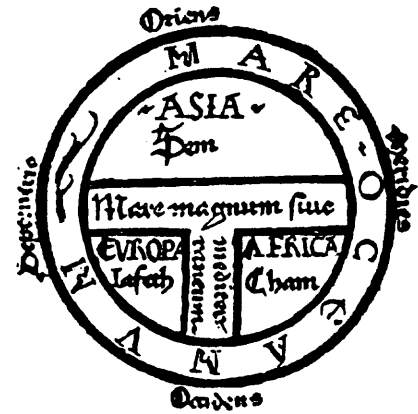
第 5 問 地図と地理情報に関する次の問い(問 1～7)に答えよ。(配点 20)

問 1 次の図 1 中の A～C は、時代が異なる 3 枚の世界図を示したものであり、次ページのア～ウの文は、A～C のいずれかについて説明したものである。A～C とア～ウとの正しい組合せを、次ページの①～⑥のうちから一つ選べ。

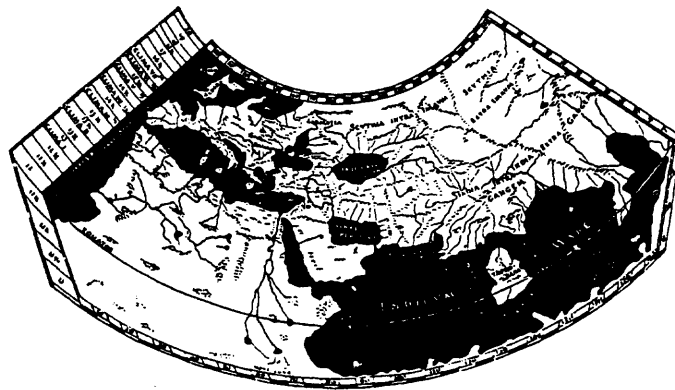
29



A



B



C

図 1

- ア 古代の地理的知識を表現した世界図であり，南北に比べて東西の距離が過大に描かれている。
- イ 中世の世界図であり，宗教に基づいた世界観が表現されている。
- ウ 近世以降の世界図であり，大航海時代における地理的知識の拡大が反映されている。

	①	②	③	④	⑤	⑥
A	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
B	イ	ウ	ア	ウ	ア	イ
C	ウ	イ	ウ	ア	イ	ア

問 2 正距方位図法とメルカトル図法の地図について述べた文として最も適切なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 30

- ① 正距方位図法の地図では，大圏航路が任意の 2 点間の直線で表される。
- ② 正距方位図法の地図では，等角航路が任意の 2 点間の直線で表される。
- ③ メルカトル図法の地図では，大圏航路が任意の 2 点間の直線で表される。
- ④ メルカトル図法の地図では，等角航路が任意の 2 点間の直線で表される。

問 3 地図は，作成目的に応じて一般図と主題図に分けられる。主題図について述べた文として**適当でないもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。 31

- ① 海図は，海域における生物の種類と分布を示した地図である。
- ② 鉄道の路線図は，駅の順番や路線の接続などを示した地図である。
- ③ 人口分布図は，人口の規模や密度などの地域的差異を示した地図である。
- ④ 災害予測図(ハザードマップ)は，災害被災地となり得る範囲などを示した地図である。

地理 A

問 4 地形図は、地域に関する様々な情報が盛り込まれた一般図である。次の図 2 の 5 万分の 1 地形図(原寸)から読み取れることを述べた文として適当でないものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

32

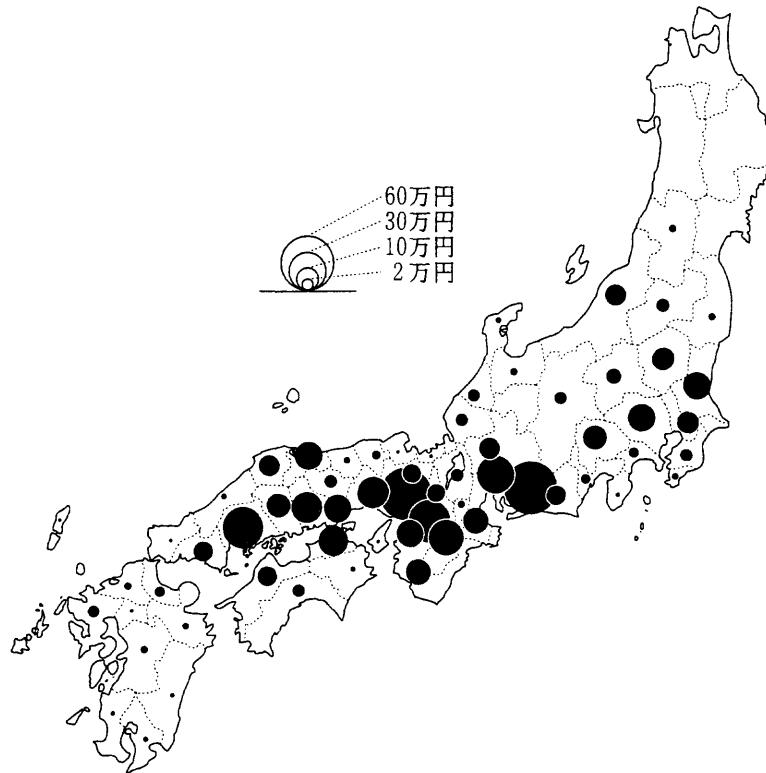


図 2

- ① 図の北部から北東部にかけては、大規模な工場が立地している。
- ② 図の中央部には、丘陵の麓ふもとにいくつかのため池がみられる。
- ③ 図の南東部には、大規模なニュータウンが建設されている。
- ④ 図の西部には、古代の政庁に由来する地名がみられる。

問 5 次の図 3 は、1877(明治 10)年における綿花の生産額を地域別に示した主題図である。図 3 について説明した文として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

33



Baker ほか編, *Period and Place* による。一部改変。

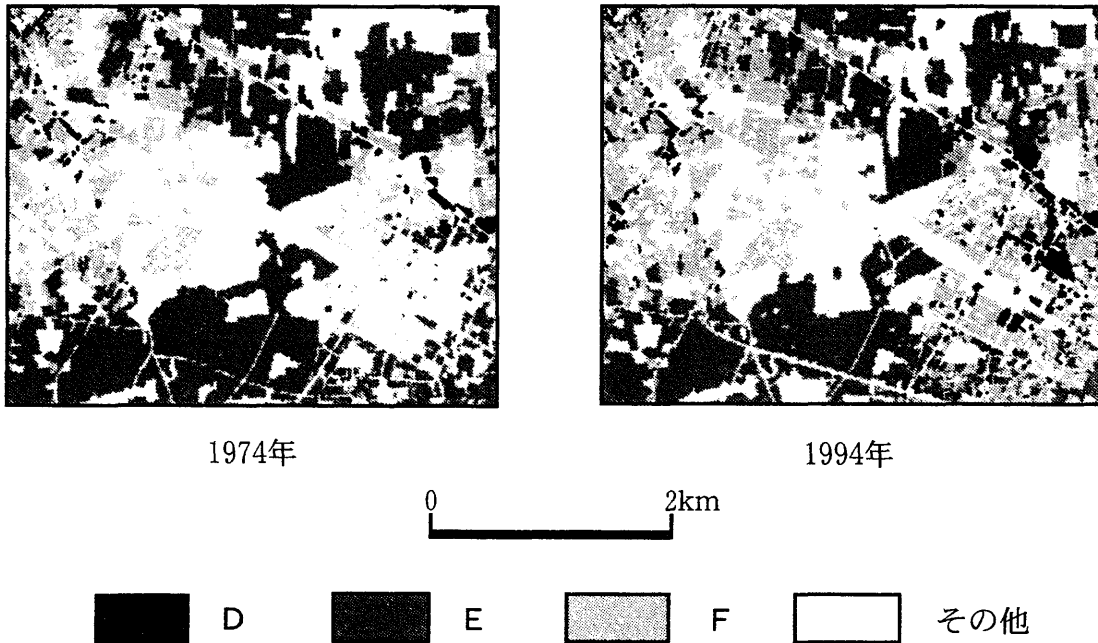
図 3

- ① 絶対値の分布を点の位置で表したドットマップである。
- ② 絶対値の分布を円の面積で表した図形表現図である。
- ③ 相対値の分布を点の位置で表したドットマップである。
- ④ 相対値の分布を円の面積で表した図形表現図である。

地理 A

問 6 次の図 4 は、GIS(地理情報システム)を用いて作成した、日本の大都市近郊地域における 1974 年と 1994 年の土地利用図である。また、凡例の D～F は住宅地、商業・業務用地、農地のいずれかである。D～F と土地利用との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

34



国土地理院の資料により作成。

図 4

	D	E	F
①	住宅地	商業・業務用地	農地
②	住宅地	農地	商業・業務用地
③	商業・業務用地	住宅地	農地
④	商業・業務用地	農地	住宅地
⑤	農地	住宅地	商業・業務用地
⑥	農地	商業・業務用地	住宅地

問 7 GIS(地理情報システム)の利用について述べた文として**適当でないもの**を、
次の①～④のうちから一つ選べ。 35

- ① 地図の重ね合わせが可能なので、多種類の地理情報を同一の地図上で容易に関連づけることができる。
- ② 歩行者通行量のデータから、二つの地点間の最短距離を容易に計算することができる。
- ③ 面積の計算が可能なので、土地利用変化の計量的な分析を容易に行うことができる。
- ④ 地表面の標高データから、地形の立体図や鳥瞰図ちようかんを容易に作成することができる。

問題と解答は、独立行政法人 大学入試センターホームページより転載しています。
ただし、著作権上の都合により、一部の問題・画像を省略しています。

日本一の学校情報



<http://www.js88.com>

インターネット塾・予備校情報サイト



<http://jyuku.js88.com>